中学校区一貫教育校園　玉野市立荘内中学校　学校通信
つねたま 2025
第08号
令和8年3月18日
生徒が主体的に未来を創る学校



文責：校長　住田義広

令7年度プロジェクト活動振り返り

【生徒のみなさんへ】

アンケートに答えてくれたチームの回答を分析

1．各種実行委員会

①桜花祭実行委員会（委員長・警備・縁日）

・成果：地域連携の強化。警備による円滑な運営、縁日での盛り上げ。

・振り返り：委員長一人ではなく、全員の力を合わせることで「最高の活動」になった。不安を乗り越えた先にある達成感を多くのメンバーが実感。

②校外学習実行委員（学年・クラスリーダー）

・成果：ルール作りから事前指導まで完遂。大きな事故なく終了。

・課題：一部でルールの徹底に課題が残ったが、集団としての仲が深まる契機となった。

③桜花祭：福祉体験

・成果：車椅子や点字の体験ブース運営。前回の反省を活かし、子供にも分かりやすい説明文に改善。

・成長：「支える側（誘導する側）」を経験することで、福祉の仕事の奥深さややりがいを学んだ。

2．各種学プロ

①自学力向上プロジェクト

・活動：自主学習ノートの紹介、HP更新。

・自己評価：おおむね達成。一部更新漏れなどの課題はあるが、やりがいを実感。

・メッセージ：「自分の仕事に責任を持つ」ことの大切さを共有し、全クラス掲載を目指す。

②つねたまちゃん活用プロジェクト

・成果：桜花祭でのグッズ販売、チャットを活用したイラスト・動画の自主的な制作。

・振り返り：メンバーが自発的に動ける「温かい空気感」が活動の源泉。

③玉野市活性化プロジェクト

・成果：岡山県プレゼンバトルで５０万円の予算を獲得。動画作成や各地での広報活動完遂。

・今後の展望：後輩メンバーを増やし、卒業までに「日本遺産」関連の目標にどこまで近づけるか挑戦を続ける。

④アクアポニックス

・活動：チョウザメ・野菜の飼育管理。

・教訓：チョウザメの死を経験、水質管理のシビアさを痛感。「命を預かる責任」を再認識。

⑤メイメイプロジェクト

・活動：ヤギの世話。　教訓：「命を預かる責任」を再認識



全体を通した「学びのキーワード」

振り返りの中から、皆さんの成長を表す共通のキーワードを抽出しました。

「責任感」: 自分の役割を全うすることの難しさと大切さ。

「視点の変化」: 参加する側から「支える側・企画する側」になったことで見えた景色。

「感謝と協力」: 一人ではできないことも、メンバーや地域の方の協力があれば成功できるという実感。

「改善のサイクル」: 前回の失敗を分析し、マニュアルや説明方法をアップデートする姿勢。

次年度の荘内中の進化に向けてさらに力を発揮しよう！

「荘内よろず相談窓口」

【生徒のみなさんへ】一人で悩まず相談を！
校長室の相談です。秘密は守ります。
落ち込まないで発信しましょう。

荘内中の取組を紹介するため生徒会がXで配信しています。



荘内中学校では、**生徒の活躍や様々な学校の方針等**を随時、学校ホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。 また、校長もFacebook「住田義広」、X「住田義広@荘内中学校」Instagram「shonaityu1373」等でも学校の取組を発信しています。